



地域資源や地域特性を活かした特色のあるまちづくりを推進するため「地域の力(考え)で地域を育てる」**地域まちづくり**をすすめています。市内各地域の地域まちづくり活動団体によって取り組まれている地域まちづくりなどを**地まちのチカラ**で情報発信します。

2022.10.30

vol.83

《みちにわマルシェ》錦二丁目まちづくり協議会

地まちNEWS

10月21・22日(金・土)に中区錦二丁目地区で「みちにわマルシェ」が開催されました。

会場は、地区内の道路を通行止めにして、道路を有効活用。路上に芝生を敷いて緑の空間を創出し、マルシェ等で賑わっていました。

都心に現れた広場は、まさに「みちにわ」!

道路一面が緑に! 子どもたちが楽しそうに駆けまわっていました。道の奥には科学館がのぞき、風が抜けるような気持ちよい空間です。

▼当日の様子



▲チャージの様子

マルシェでの買い物には、独自の決済方法である「みちにわPay」が利用可能でした。チャージは現地にて、現金かPayPayで行います。接触を減らしてマルシェを楽しむことができますね。

みちには多くの話し声や笑い声が飛び交い、会場の至る所で新たな交流が生まれていました。

現在、錦二丁目では「錦二丁目SDGsWeeks」と題して11月6日までSDGsに関連する企画が開催中です。ぜひチェックしてみてください。

地域の取組み

気軽にすけっと

遊びと相談のオープンパーク

住人同士の助け合い活動に取り組んでいるまちづくり団体「気軽にすけっと」主催のオープンパークが、10月16日(日)中川区の富田公園で開催され、180人ほどの方が参加しました。

バザーや包丁研ぎ、健康チェック等のブースの他、広場では、チューブ体操やペープサートや輪投げなど、いろんな世代が参加できる企画が。そこにいる人達から、生き生きと「楽しい」という気持ちが伝わってくるイベントでした。

会の締めくくりで、主催者が「お互いが支え合っていける地域になれば」と話し、参加者は拍手で応えていました。

▼当日の様子



地まち団体紹介

ちくさ・文化の里づくりの会

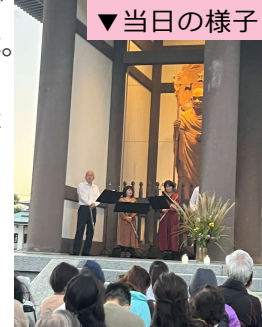
文化・音楽を通じたまちづくり

「ちくさ・文化の里づくりの会」は、千種区城山・覚王山エリアにて、地域の文化的資源を活かしながら、音楽や芸術を通じて、地域の魅力アップに取り組んでいます。特に日泰寺や揚輝荘、城山八幡宮などを舞台に、音楽祭やお月見・紅葉イベントを企画しています。10月8日(土)には「覚王山日泰寺でお月見と音楽を楽しむ」が開催されました。

日泰寺山門前、満月の下でフルーツの音色が響きました。歴史文化と音楽の親和性はピッタリ。地域の落ち着いた雰囲気と音楽をうまく融合させ、地域の更なる魅力を引き出していると感じました。

12月3日には、紅葉を楽しむイベントが開催されます!

▼当日の様子



地まち チャレンジ ~29人目~

小川明さんのご紹介
作業所型地域活動支援事業所「のんき星」代表
/まちづくりびと 鬼頭 信彦さん



Q まちづくりに取組んできた中でうれしかったこと
A 自分の思いを口に出すことでイメージがより具体化され、いろいろな形の協力が得られ実現に向けての実感を得られたこと。

Q これから取組みたいと考えていること

A 自分の思いを伝えていくこと。

Q 最後にひとこと

A 自分の胸に落ちるまで待ち、無理せずに来れることをする。

鬼頭さんは、第一回まちづくりびと養成講座を受講されました。現在は港区で、障害者の方の作業所「のんき星」を運営されています。何より「ここに来て、元気に話をしながら作業できることが大切」とのこと。作業生の方が「緊急の時は即動いて助けてくれた」とお話される様子が、周囲からの信頼を集めているのだと感じました。他にも、町内会の仕事や、車椅子ツインバスケットの応援団、生涯学習センターまつりでの子ども工作の担当など、様々な活動をされています。その一方で「こちらの方が助けてもらっています」「やれることしかできません」と語る鬼頭さん。どこまでも謙虚な姿勢で、あたたかな場を作られているのだと感じました。

